

## おもな内容

- ▶ たくましいからだ、豊かなところ
- ▶ 全国学校保健研究大会への期待
- ▶ みんなで考え、力をあわせて実践
- ▶ 生命の尊さ、はかなさ
- ▶ 保健指導と保健管理の調和
- ▶ 提言 学校保健学会と学校保健会
- ▶ 日本学校保健会だより

The School Health (No.119)

昭和52年11月1日発行

# 学校保健

(隔月発行)

発行 日本学校保健会

東 俊 郎

東京都港区虎ノ門2-3-

13 第18森ビル2号館8F

電話(501)3785・0968

振替口座 東京 4-98761

頒価1部100円(送料共)

財団法人

日本学校保健会会報

## たくましいからだ、豊かなところ

### 第27回 全国学校保健研究大会の主題

兵庫県学校保健会会長 渡 邊 一 九

人はだれでも長生きしたいと思う。生れていてよかったと実感できるような一日一日を送り、生きがいのある人生をいつまでも続けたいと願う。

#### 1. 人間形成の基本目標として

人間教育は、教育の基本理念である。これは、教育基本法に明示されているように人間形成の基本目標でもある。

この目標を構造的にとらえて、たくましいからだに豊かなところを持ち、人間を尊重し(生命の尊厳)、社会人としての教養(国際人的感覚)、を兼ね備え、おう盛な行動力で調和と統一のとれた人間づくりへの営みであると考えたい。

健康は、すべての活動の根源であり、人生を明るくし、幸福にするものであることは論をまたない。したがって、より高い人間づくりへの志向を願うならば、今日の健康が明日の世代へと継承されるとともに、より高次の健康づくりの努力が払われなければならない。

#### 2. 社会的な背景から

文明は、人間の生物的生命の延長をもたらした反面、人間の生活条件のテンポを早めるとともに、社会的ひずみを生み出した。変転激しい社会環境の中で、生活を維持し、あらゆる障害に対応できる、たくましい健康こそ、WHOの健康憲章であろう。我われは正しい健康観、高い健康意識によって、よりおう盛な生命力、活動力、精神力の基礎となる健康が獲得できることを、改めて確認し、認めなければならない時代に立っている。

#### 3. 児童生徒の現状から

児童生徒の生活の多忙化に伴う運動不足、栄養障害、多元化による危険の増幅、複雑な内臓疾患や歯、視力障害の高率罹患、非行の多発と低年齢化等、…むしばまれている児童生徒のこころとからだは、まさに猶予ならぬ時点に立っている。

学校での健康教育はもとより、学校より帰った後の家庭や社会の人間づくりを大人の責任としてとらえたい。

個人の健康が確保されてこそ、明るい家庭、幸福な社会が実現する。たくましいからだ、豊かなところ、これが時代の要請する、人間の基底的条件である。

#### 4. 次代の人間像から

21世紀、それは我われが想像する以上に大きく変わった時代となっていることであろう。

宇宙旅行、海洋開発、国際間の政治経済の錯そうと複雑化、高度化した機械文明の激流、これらに対応する強じんな体力と精神力を持った人間、また、平和に徹した力強い倫理感にたった世界的連帯性ある人間、を要請し続けるであろう。

教育は、刻々に成長を続ける人間を対象に、永遠を目指し、絶えず理想を追求する営みである。その教育の中における健康教育は、いかにあるべきであろうか。

“たくましいからだ、豊かなところ”の育成を目指す第27回全国学校保健研究大会の標題を設定したゆえんをのべ、本大会でより実践的に、より高次に追求されることを切望する次第である。

## 全国学校保健研究大会 への期待

### 学校医の立場から

## 来年度は学校保健委員会を

福岡県医師会学校保健担当理事

鈴 来 久 生

まず、「学校医として本年度大会のどの領域を希望され、どんなことを期待されますか」の設問については、第1領域、健康診断、第2班「小学校の健康診断の計画と実施」に出席することにしています。

この分野を希望した理由としては、学校医の果すべき任務は、学校保健法施行規則第3章、第23条の学校医の職務執行の準則にうたわれております。その基礎となるものが「健康診断の計画と実施」であると思うからです。このことは健康診断が基盤となり、例えば健康教育、保健指導、健康相談、事後措置、その他いろいろな分野における学校医としての活動が可能となるからです。

つぎに本年度大会には、不可能なことでしょうが、できましたら、来年度の大会に期待することとして、「学校保健委員会の設置促進」について、特に大きなテーマとして、とりあげて戴きたいものです。

学校保健全般については、関係各団体（文部省、各地方自治体教育委員会を含む）あるいは、各団体所属の各位のご努力によって、近年目ざましい進展をみつつあります。しかし、全国的にみても、また、地域的にみても、各学校における学校保健の進展程度には、かなりの格差があることも事実です。このことは、全国的な視野で学校保健をみるとき、さけては通れぬ問題であります。武見会長のいわれる「未来に向う全てのものが、包括されている学校保健」について、各学校間の格差をできるだけ無くすることが、最も急務ではないかと思えます。もちろん、それらのために各種大会があるわけですが、各学校

の保健の格差を少なくする方策として、各学校に学校保健委員会の必置を切望します。現在、学校保健委員会を設置している学校は、50%にも満たないものと推測されます。学校現場における学校保健の基盤は、学校保健委員会にあるものと思えます。以上の理由からして、来年度の大会等には、領域別の段階でなく、第1日目の全体会議の、学校保健委員会の問題をとり上げて戴きたいものです。そして、文部省においても、この学校保健委員会の設置を法的にはっきりと規定して戴きたいと思えます。

このことが、学校保健を地についたよりよい進展につながるものと確信する次第であります。

### 学校歯科医の立場から

## 協力態勢をつくりたい

日本学校歯科医師会会長

湯 浅 泰 仁

第27回全国学校保健研究大会を迎えるにあたり、皆様と共に、現代社会に対し「たくましい体と豊かな心」を題目として、6領域、50班から成る研究協議が開かれんとしています。

私ども学校歯科医は、学校保健の一翼を担って、関係諸団体と共に本大会の成功を願ってやみません。

今までの経験から顧みて、あまりにも広範囲にして、複雑な各部門の構成では、縦横の連絡を密にして、円滑なる運営を図るのは、容易なことではありません。

については、まず、各自が所属領域や関係班別に焦点を合わせ、さらに広い視野を拡げて、学校保健の動向を知るには絶好の機会と存じます。

私達学校歯科医は、長年にわたる学校保健活動にもかゝらず、う歯罹患状況が好転してをりません。このような現状にかんがみ、乳歯から永久歯への転換期にあたる児童生徒の歯科保健指導管理を充実し、さらに保健教育に併せて、う歯予防対策を強力におし進めております。日本学校保健会においては、センター的事業の一環として、かねてより歯および口

腔委員会を設けて研究調査を進め「う歯予防の理論と実際」を編集し、広く全国関係方面にお届けしています。関係される先生方、PTAそれぞれの立場で格別なるご理解をもって、今後特段のご理解とご協力を願ってやみません。

文部省は、本年度より、国庫補助をもって、う歯予防に関する調査研究とともに全国講習会を開催し、また歯科保健指導の手引をまとめる段階となりました。日本学校歯科医会は、日本学校保健会の共催のもとに横浜市で全国学校歯科保健大会を開きました。歯科保健活動の実践をめざして、地域保健との相関性を高め、歯科保健の進展をはかり、真に健康な国民の育成に資するため、奪闘をいたしております。今や小児う歯抑制とそれに関する予防対策の論議は、澎湃として、巷に報道されてまいりました。この機にあたって、本大会は誠に意義深きものと存じ、関係各位と共に慎重協議を重ね、学校保健の円滑なる運営とあわせて、学校歯科保護の成果を期待するものであります。(日本学校保健会副会長)

## 学校薬剤師の立場から 21世紀を志向して

愛知県学校保健会副会長

岡 本 正 八

第27回全国学校保健研究大会が晩秋の兵庫県で開催されることになり、そのテーマも決定しました。地球社会に大きな変革が予想されるような21世紀を目前にして、人類社会の基本的な課題の1つである保健をどのように発展させるか、私は今期研究大会

に非常に大きな期待をかけています。

私が学校薬剤師として学校保健に関与してから17年になります。その間、時代の変遷は著しく、人口の急増、経済の変転、資源の有限、環境の汚染など多くの問題、課題が提起され、21世紀へ渉る前しゅう戦として、人間の基本的健康に対する課題を始め人類存続についての危機感が次第に大きくなってきました。

私達は、生活環境のすべてが大きく変革されるであろう21世紀に向って生き抜く児童・生徒に、時勢に対処することのできる、健康な心、たくましい身体、くじけない知力をどのように育成するかしんげんに考え、実践しなくてはならない責任と時を持つものであります。

生命の尊重と人間社会の発展は、限られた資源の効率的な利用と環境浄化の努力の中に近隣相互を考え、心と心のつながりを強くし、常に相互の立場を理解して、みずからの生活をすところにあると思われれます。

地球環境からくる人類の心的物的な危機は、20世紀末にあると識者はいわれます。我々がその対策を樹立するのも現在です。心の健康、からだの健康、社会の健康の必要性はより以上に意識されるようになるでしょう。

このような時代背景のもとに、この大会へ参加される諸先生方はもちろん、これを支える全国の先生方が、テーマと趣旨をふまえて、未来社会に生きる児童・生徒のための道しるべを打ち立てるために、大いに研究討議を重ねられて、日常現場にその成果を開花させて頂くことを希望し、この大会の成功を願うものであります。

# 歯ブラシはお口に合せて選びましょう。



推薦 日本学校保健会

バネット ライオン ジュニア ライオン歯磨株式会社

# みんなで考え、力をあわせて実践

## 全国学校保健協議大会

昨秋 11月13日、高知で行われた全国学校保健協議大会は、はじめての試みとして、各ブロックの研究大会で問題になった事項を協議題として協議をした。その結果は、

- (1) 学校保健行政に関する事項
- (2) 学校保健管理の徹底に関する事
- (3) 保健教育の充実をはかる事項
- (4) 学校保健環境衛生に関する事
- (5) 保健室の基礎算定の改正に関する事

以上5項目であった。要望書は、高知県学校保健連合会と本会で原案をつくり、理事(33名)評議員(77名)に送り、意見をまとめて成案とした。東会長と小栗専務理事が文部省に出頭し、学校保健課長遠藤丞氏を通じて要望書を提出し、みなさんの意向を伝えた。さらに、自民党の文教部会長、ならびに文教制度調査会長に、これらの事項をまとめて、役員数名と陳情をした。

### 1. 協議大会の性格

今年度は、全国学校保健協議大会の性格をさらに鮮明にし、この協議会を意義ある会にするため、理事会で検討中である。

- (1) 参加対象は、加盟団体の代表者とする。
- (2) 学校保健の文教政策を理解する。
- (3) 学校保健に関する諸問題を自らの問題として考え、解決をはかる。
- (4) 協議事項は、必要に応じて要望書にし、関係機関に提出する。

### 2. 今年度の協議題と提案者

- (1) 健康診断に関する事項について
  - 十大都市ブロック 横浜市 岡田節夫
  - 関東甲信越 茨城県 黒沢之善
- (2) 養護教諭の全校配置と複数配置について
  - 九州ブロック 佐賀県 飯盛延子
  - 東北ブロック
- (3) 保健主事の活動を推進する施策について
  - 東北ブロック 岩手県 戸館良耕
  - 中国ブロック 島根県 勝部行正

全国学校保健協議大会は、行政機関に対して要望をするだけの会ではなく、自ら所属する学校や保健会で相互に考え、実践に役立つ内容をもった会であって欲しい。いわば、共に考え、協力して実践しようとする意欲を高めるようにしたいのである。

養護教諭の配置状況

昭 51.5.1

学校種別 区分	小 学 校				中 学 校				高 等 学 校			
	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立
学校総数	24,716	71	24,485	160	10,719	76	10,092	551	4,978	17	3,734	1,227
養護教諭数	16,055 (833)	70	15,924 (823)	61 (10)	6,955 (833)	74 (1)	6,796 (276)	85 (9)	4,165	2	3,570 (78)	593 (124)
配置数	64.9	98.6	65.0	38.1	64.9	97.4	68.8	15.1	83.7	11.8	105.3	48.5

養護教諭は、学校教育法第28条、第40条で小、中学校におかなければならないこと、また、第50条で高等学校におくことができる。と規定されているが、第103条には「当分の間これを置かないことができる」とある。

### 《学校保健用品 推薦公示》 — 新規 — ナショナル乾電池式歯ブラシ “シロップ”

松下電器産業株式会社  
学校保健の向上発展に寄与するものと認め、推せんします。

# 生命の尊さ、はかなさ

群馬県立養護学校前橋分校教頭 金田 喜美恵

病弱学校は、一般の学校に比べ子どもが悲愴なまでに健康について考え、生命の尊さを肌で感じている。“命あってのものだね”とはまさに病弱教育の根幹であろう。

主な病気は、腎臓、ネフローゼ、白血病など長期療養を必要とする重症者である。

本校の教師は、子どもの一人一人をみつめ病状が寛快された時期をとらえ、身体への負荷を十分考えた上で効果的な指導をするよう心がけている。また、病気の回復は、ひとり医療関係者のみでなく、子どもの力強い精神力を養成する努力が重要で、これら両面あいまなければならぬが、これこそ教育者の使命でもある。中でも高校進学を目標にしている者は、学力が向上すると目立って病気が快方に向った例もある。

また、教師の心構えとして、子どもが病気の苦しみをのりこえ学習も可能な限り努力している姿をみたとき、賞讃し、励みとよろこびをつくり出す教師でありたい。特に中学三年ともなれば、遅々として進まない学習の中で教師以上にあせり、悩むものである。昨日まで通学していた子どもが、今日は浮腫のため点滴をうけながら床上学習をすることもある。ベットに行った教師が「S先生も心配していたよ。」という子どもはよろこぶし、時には手をとりあって励ますことも必要である。

生と死、幼くして命を絶つこと（腎臓・ネフローゼの多くは尿毒症）この世にこんな悲しいことがどうして起るのだろう。ある病弱教育者は、「病弱教育は、病気を無理に治そうとするのではなく、病気と共に自分がある。病気はお客さんだと思いなさい。」という。しかし、死を目前にした時、この言葉の何んと空虚なことか。A子は、中学2年の春休み入院した。原籍校では、バレー部の主将として活躍し、練習中気分が悪くなり、保健室で検尿の結果蛋白(Ⅲ)ということだった。7月末、ネフローゼ特有の全身浮腫、高血圧などで入院、当初の面影は一変してし

まった。しかし、自分から「この病気には山があるんだって、そのうちよくなる。病院生活はいやだけど授業をしている時が楽しい。」と明るくいていたが、病気は悪化し中学3年を卒業して1年半後、帰らぬ人となった。死ぬ2日前「先生お世話になりました。今度生れる時は、丈夫な体と優しい心で生れたいわ」といった。

また、Tは、3才の時風邪がもとで、ネフローゼに罹患した。入学式も寝たつきり、担任と個室を訪れると、真新しいランドセルが枕元にあった。「T君、今日から一年生です。担任のY先生ですよ。教科書はこれです。早くよくなって仲よく勉強してくださいね。」といった時、笑顔で「はい」といったT君、顔も腹も水が溜り寝具はビッシヨリ、でも気分のよい時は、得意に本を読み数をかぞえていた。

「この子は、1年生になってこんなに元気になりました。」と母親はいう。Tは、「ぼく、大人になったら、この学校の先生になるんだ。」ともいっていた。髪は病気のためか脱落し、禁止食物（米、大豆、卵、牛乳など）も多く、病巣といわれる扁桃剔除、う歯も抜去し、歯はほとんどない。2年生の終り「ぼく、死にたくないよ。」といいながら遂に逝ってしまった。私は、こんな悲しい思い出の中で、病弱教育のあるべき姿を模索しながら“生と死”の相反する中で、生命の尊さを痛感している。

尊い生命を人間教育の根幹とするならば、これら病弱者を早期に発見し、適切な治療をすることが重要である。本校に入学する大部分の病弱児は、養護教諭の健康管理によって発見され、校医の指導によって本校へ入学し、完全治癒する者が多い。今更ながら、きめの細かい健康管理と指導の重要性を多くの方々に再認識していただきたい。病弱児は、生と死の境をさまよった体験があり、健康に対して無限の撞れをもち、生命の尊さを感じながら、それぞれの人生を生きぬいていくことだろう。

# 保健指導と保健管理の調和

## 第41回 全国学校歯科保健大会

第1日 昭和52年9月30日～10月1日、神奈川県立音楽堂に1300余名が参加して、大会式典および全日本よい歯の学校表彰と奥村賞の授与が行われた。文部大臣、厚生大臣、日本歯科医師会長、神奈川県知事、神奈川県議会議長、日本学校保健会長、神奈川県学校保健連合会長の祝辞があり、次期開催地を大阪府と決定した。午後は1時より、佐藤愛子氏の

記念講演「わたくしの人生観」～創作活動をとおして～があり、次は特別発表として、横浜市豊学校児童生徒による創作舞踊「歩行者天国」ほかが演じられた。障害を克服し、音の無い

世界から、音を創造しようとする涙ぐましい努力は、満場の会員をいたく感激させた。続いての研究発表は、日学歯常務理事川村輝雄氏を座長に「う歯半減運動の実践事例からの報告」～管理と教育の調和を求めて～が名古屋市学校歯科医会の阿部銈式、河合豊、田熊恒寿の3氏から行われた。続いて全体協議会は、栃木県より、第40回大会採決事項の処理報告の後、学校教職員の口腔、歯の健康診断を要望する。



(東京都学校歯科医会)教員養成大学の科目「保健」を必須科目とすることを要望する。(大阪市学校歯科医会)学校歯科保健を積極的に推進するため、歯科衛生士の導入を要望する。(京都府・京都市学校歯科医会)の提案があり、いずれも採択された。

第2日 第一領域は、横浜市立本町小学校において座長 愛知学院大学教授 榊原悠紀田郎氏のもとで

「予防活動のすすめ方」について、第二領域は、横須賀市立汐入小学校において座長は、日本大学松戸歯学部教授 森本基氏のもとで「健康相談の展開」について 第三領域は、神

奈川県歯科医会常務理事 本村静一氏のもとで「地域歯科保健とのむすびつき」についてそれぞれ活発なる研究協議がなされ、来年大阪での再会を約し閉会となった。

おわりに地元、神奈川県、横浜市、横須賀市、川崎市の関係者に深く感謝して、報告とする。

(日本学校歯科医会常務理事 石川行男)



**National**

30度のローリング運動

日本学校保健会推奨

お子様でも、簡単にきれいにみがける

おはよう! **3000**

**ナショナル** BH-800

**乾電池式 歯ブラシ**

(乾電池別) ¥3,865 (替ブラシ1本 ¥150)



提言

# 学校保健学会と学校保健会

(財)日本学校保健会専務理事

小栗一好

学校保健学会には、全国組織の日本学校保健学会のほかに、地区ごとのブロック学校保健学会があり、さらに都道府県や大都市にも学校保健学会を組織しているところがある。一方、学校保健会には、全国的組織の日本学校保健会のほかに、都道府県や大都市の学校保健会があり、郡市にも学校保健会を組織しているところがある。

学校保健学会も、学校保健会も、ともに学校保健の進展をめざす機構であるが、学校保健というものは、まず学問的に研究して学校保健理論のレベルを高めることが必要であり、ついでその理論的成果を学校現場に活用し実践することが必要であって、この前後両段階が望ましく推進されてはじめて向上するものである。

学校保健学会は、この過程の前段階に主力を注ぐのを主要使命とすべきであり、学校保健会は、この過程の後段階に主力を注ぐのを主要使命とすべきであると考えられる。


学会という世間一般では、学者が集まって学問的理論を討議する場と考えられ、学校保健学会も現場ばなれのした理論に走りがちで、その成果も学校現場に即応しにくいきらいがある、との批判もある。

また、地方学校保健会などの現状をみると、少数の熱意のある学校医などが中心となって、学校側や地域保健の関係者の参加をもとめて、組織されているが、開店休業状態のものが少なくない。

元来、学校保健という領域は、保健関係学者も、学校側の保健関係者(学校長・保健主事・養護教諭・一般教師・PTA・学校医・学校歯科医・学校薬剤師など)も、地域保健関係(教育委員会・保健所・市町村衛生係・医師会・歯科医師会・薬剤師会など)も、あらゆる学校保健関係者が連帯して一致協力して、はじめて望ましい進展を期待することができる領域である。したがって、学問的に研究して学校保健理論の向上をはかるにも、保健関係学者ばかりでなく、学校現場関係者との協力研究が必要であり、また、研究成果を学校現場に活用実践する段階においても、学校現場関係者だけでなく、学校保健学者の参加が必要である。

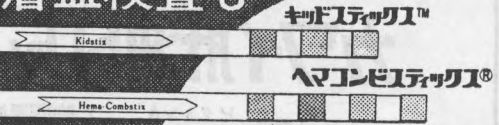
以上のようなわけで、学校保健学会には、もっと多くの学校現場の保健関係者や地域保健の関係者も参加すべきであり、学校保健会活動には、もっと多くの保健関係者も参画して、指導助言を行なうべきだと思う。

**カッケ** (脚気) / **肉体疲労時の**  
**ビタミンB<sub>1</sub>補給に**  
**アリナミン<sup>®</sup>A**  
☆筋肉痛・肩こり・腰痛・神経痛の緩和にも  
☆アリナミンA25ミリ錠のほかに5ミリ錠



タケダ

**学童の集団検尿には**  
**潜血検査も**



**キッドステック<sup>™</sup>**  
**ヘムコンビステック<sup>®</sup>**

製造元: エームス事業部 販売元: 三共株式会社  
マイルス・三共株式会社

# 日本学校保健会だより

会報「学校保健」は、昭和29年に創刊され、現在に続いています。年5回発刊し、20数万部を全国の学校、教委、三師会、個人購読者に配っています。第117号は、学校保健センター的事業の出版物の紹介をしました。北海道や山陰などから、問い合わせや注文があり、「よくぞ届いてくれた」と、心あたまるものがありました。第118号は、文部省の吉田、国崎両先生、国立公衆衛生院の高石先生に、新しい指導要領の改善のねらいや要点、小中学校における保健学習の領域についての説明をしていただきました。

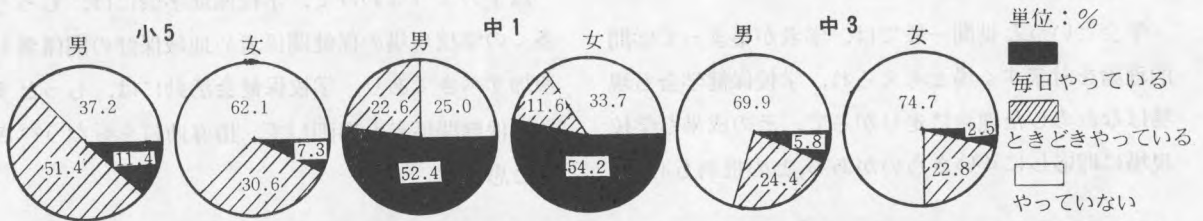
本号は、いわゆる「大会持ちこみ号」です。開催県の渡辺会長に主題の説明、三師会の代表者に大会に対する期待をのべていただき、それを中心に編集しました。

本会では、この会報が先生方の手もとに届き、各学校の保健活動に少しでも、お役に立てたらと考えています。それには、読みやすく、活用できる内容でなければなりません。みなさんの要望にこたえるため、理事会では、榊田桂常務理事を中心に12人で委員会をつくり、魅力ある会報の編集をするため、忌憚のない意見を交換しています。読者のみなさん、ぜひ、改善意見をおよせください。

## ◆ もろもろの会合

- (1) 常務理事会 7月27日(水) 9月27日(火)
- (2) 第2回理事会 10月18日(火)
- (3) 第3回評議員会 11月11日(金) 9:30~11:30

## 3. 調査「体力をつけるために、何かやっていますか」



## (4) 学校保健センター的事業

10委員会, 3特別委員会 計133名 56回

議題は、いずれも、昭和53年度、本会の基本方針、事業計画、予算、第2類学校伝染病、視機能、脊柱彎症などの特別委員会。学校保健センター的事業などの内容や施策についての協議です。

## ◆ 児童生徒の健康に関する実態調査

京都市健康教育研究委員会と学校保健会が協力され、市内における児童生徒の健康状態の推移と、日常の健康習慣や体力の向上につながる生活実践、安全に関する態度や習慣とその考え方。さらに健康生活に関係の深い保護者の意識や関心について調査されました。(B4 206頁)

### 1. 調査対象

項目	児童数	生徒数	父母の数
ア保健に関し	4,936名	2,071名	6,933名
イ体力に関し	1,770	922	2,455
ウ安全に関し	5,616	2,248	7,547
計	12,322	5,241	16,935

### 2. 調査のおもな内容

- (1) 健康生活を営むための習慣行動と日常生活の内容の構成。
- (2) 生活の中で体力づくりをどのように考え、実践しているか。
- (3) 交通事故と生活事故を防止するための、安全意識や行動の実態。
- (4) 保護者は、わが子の健康生活や体力づくり、安全問題に、どんな意識が関心をもっているか。

体力をつけ健康を保つ **カワイ** のビタミンAD剤

**カワイ肝油ドロップ**

1粒中 ビタミンA 2,000国際単位  
ビタミンD<sub>2</sub> 200国際単位

**カワイカンズドロップM**

1粒中 ビタミンA 2,000国際単位  
ビタミンD<sub>2</sub> 200国際単位  
リン酸水素カルシウム 65mg



河合製薬株式会社 東京都中野区新井2丁目51-8